

施策評価調書

1 施策の概要

(1)	施策名	指導者の養成・確保と資質の向上					
(2)	総合計画の体系	第	4	章	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり		
		第	3	節	スポーツに親しめるまちづくり		
		第	20	細節	指導者の養成・確保と資質の向上		
(3)	事業費など (単位:千円)	項目\年度(平成)		26年度決算額	27年度決算見込額	28年度予算額	
		事業費(A)		2,493	2,051	3,305	
		従事職員数		0.75 人	0.75 人	0.75 人	
		所要人件費(B)		5,961	6,264	6,128	
		総事業費(A+B)		8,454	8,315	9,433	
		財源内訳	収入	国庫支出金	0	0	0
				府支出金	0	0	0
				その他	0	0	0
			市負担	地方債	0	0	0
				その他	0	0	0
一般財源	8,454			8,315	9,433		

2 評価の指標(施策に係る成果指標)

指標項目		項目\年度(平成)	26年度実績	27年度実績	28年度計画
指標内容	成人(20~69歳)の週1回以上スポーツ実施率	目標値 (単位:人)	50.00	50.00	50.00
		実績値 (単位:人)	34.20	34.20	
目標値の積算方法	過去の市民意識調査(4年に1回実施)をもとに今後の増加を目指し設定	達成度(%)	68.4	68.4	0.00
指標内容		目標値 (単位:)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		実績値 (単位:)	0.00	0.00	0.0
		達成度(%)	0.0	0.0	

3 施策の点検(施策を進めるうえでの課題)

健康づくりから競技スポーツまで、市民の様々なニーズに対応するため、スポーツ指導者の養成・確保は必要である。その指導者の活用のため、資質の向上は不可欠であり、事業を継続していく必要があります。

また、社会体育リーダーを始めとする地域スポーツ指導者は、地域スポーツ活動の場において、指導・助言等で活躍していますが、高齢者スポーツ指導者については、公民館など身近な場所で活動ができるような環境整備を充実させるため事後研修を行い、将来的なスポーツ活動の場を確保していきます。

4 施策の評価

次年度の優先順位	施策を構成する事務事業名	室課名	事業番号	市単独事業区分	施策への貢献度	各視点からの評価 (20 → 4) 高 → 低						今後の方向性 (実施計画)
						妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	合計	
1	地域スポーツ指導者養成・研修事業	文化スポーツ推進室	01019	全部	大	20	16	18	18	16	88	継続
2	競技スポーツ指導者養成・研修事業	文化スポーツ推進室	01020	全部	大	14	12	14	14	16	70	継続
3											0	
4											0	
5											0	
6											0	
7											0	
8											0	
9											0	
10											0	
11											0	
12											0	
13											0	
14											0	
優先順位をつけるにあたっての考え方		運動に親しみのない方が、地区公民館など身近な場所で活動することで、「成人の週1回スポーツ実施率」50%を目指すことの増加につながるため、地域スポーツ指導者養成・研修事業を優先にしました。										